

赤字一転、国内最高益に

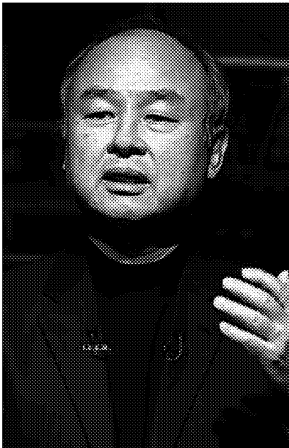
株高、ファンド含み益膨張

ソフトバンクグループ（ＳＢＧ）が12日発表した2021年3月期の連結決算（国際会計基準）は、純利益が4兆9879億円だった。過去最大の赤字だった20年3月期から一転し、国内企業の純利益では過去最大を記録した。ＳＢＧの利益のほとんどはファンド投資先の含み益で、株高の恩恵を受けた。収益の振れ幅が大きいたことが浮き彫りになった。（関連記事を金融経済面に）

収益、振れ幅大きく

ＳＢＧの投資会社化は前期の決算でより鮮明となった。通信子会社ソフトバンクの事業別利益は8479億円だった。世界の有望スタートアップに投資する「ビジョン・ファンド」事業の利益は4兆268億円で、全体の利益の7割を占める。直近1年間の本決算で比べると、ＳＢＧの純利益は世界1位の米アップル、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコに続く3位だった。

革新的なサービスなどで利益を上げる世界の企業と違い、ＳＢＧは投資



オンラインで決算を発表する孫会長兼社長（12日）

トバンクの事業別利益は8479億円だった。世界の有望スタートアップに投資する「ビジョン・ファンド」事業の利益は4兆268億円で、全体の利益の7割を占める。直近1年間の本決算で比べると、ＳＢＧの純利益は世界1位の米アップル、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコに続く3位だった。

実際に20年3月期はファンド事業が足を引っ張り、最終損益で過去最大の9615億円の赤字を計上した。孫正義会長兼社長は12日の記者会見で「今回は『たまたま』が重なった程度。あまり胸を張って言える状況ではない」と述べた。

実際に20年3月期はファンド事業が足を引っ張り、最終損益で過去最大の9615億円の赤字を計上した。孫正義会長兼社長は12日の記者会見で「今回は『たまたま』が重なった程度。あまり胸を張って言える状況ではない」と述べた。

成功事例ばかりではない。19年には米シェアオ fis大手ワイワークが経営難に陥り、追加投資を追われた。3月には英金融サービス会社グリ ーンスル・キャピタルが 経営破綻した。

投資の回収にも課題がある。前期は株売却に伴う実現益が4196億円だった半面、含み益は5兆8970億円に膨らんだ。17年に運用を始めたファンドの投資先92社のうち、資金回収したのは3月末時点で11社だ。

ＳＢＧは投資先企業が成長して上場すれば、保有株を市場で売却し、投資資金を回収するのを基本としている。今は未実現の含み益で利益が膨らんでいる。米国で急拡大する「特別買収目的会社

（SPAC）」を用いた上場については、孫氏は「二百数十社の投資先のうち、SPACはやるつもりと比べると、投資のスピードは格段に速い」と指摘した。

ＳＢＧの損益は株式市場に大きく左右される。前期の利益を押し上げたクーパーンのここ最近の株価はさえず、3月末比では3割下落した。インフ

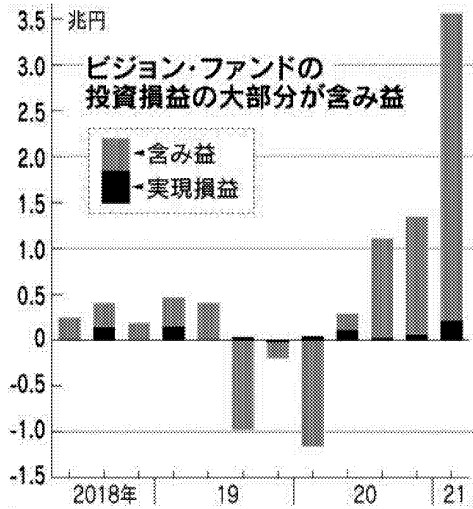
レ懸念からハイテク株が世界的に軟調に転じている。株高の追い風がやめば、再び業績が悪化する恐れがある。

英金融会社破綻「反省している」ソフトバンクグループ（ＳＢＧ）の孫正義会長兼社長は12日、投資先の一つ、英金融会社グリーンシル

ソフトバンクG 純利益4.9兆円

投資対象(業態)	利益貢献額
クーバン (韓国ネット通販)	245億ドル
ドアダッシュ (米料理宅配サービス)	63
ウーバーテクノロジーズ (米ライドシェア)	49
オートワングループ (独中古車販売)	18
オープンドア (米不動産テック)	12

ビジョン・ファンドの主な含み益



「ユニコーン」と呼ばれるような新規株式公開（IPO）も視野に入っ た新興企業を投資対象とする。前期決算では複数の投資先企業の含み益が拡大した。代表例は3月に上場した韓国の電子商取引（EC）大手クーバンだ。ＳＢＧによると、クーバンは投資した当初の価値の10倍になった。

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用

「1日1社ずつくらい投資を決めている」という。ＳＢＧは12年ある運用